

# ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

## 質問項目

玉川 清史 議員 9ページ

- ① 複合施設について
- ② 性の多様性を尊重するために

山城 峻一 議員 10ページ

- ① こども基本法について
- ② びんぐし湯さん館について

柵津 明子 議員 10ページ

- ① 公共施設の整備について
- ② デジタル化について

中嶋 登 議員 11ページ

- ① 高齢者の健康増進について
- ② 五里ヶ峯トンネル横坑について

朝倉 国勝 議員 11ページ

- ① 少子高齢化対策について
- ② 農業政策について

松本 みゆき 議員 12ページ

- ① イベントによる町の活性化について

水出 康成 議員 12ページ

- ① 小中学校給食費の無償化について
- ② 都市公園の管理について

塚田 舞 議員 13ページ

- ① いきいきと働ける環境づくりについて
- ② ICTによる町づくりの取組について

宮入 健誠 議員 13ページ

- ① 国道18号バイパスの建設について
- ② 空家の現状と今後について

中村 忠靖 議員 14ページ

- ① 災害時のペット同行避難について
- ② 带状疱疹ワクチンの費用助成について

大森 茂彦 議員 14ページ

- ① 学校給食無償化について
- ② マイナンバーカードの問題点は
- ③ 産廃施設の火災について

大日向 進也 議員 15ページ

- ① 部活動の地域移行について
- ② 新型コロナ5類移行に伴う対応について

星 哲夫 議員 15ページ

- ① 選挙について
- ② 町道A06号線の整備について

## LG BT Q 県の新制度と町の連携は 町も共通サービスを提供

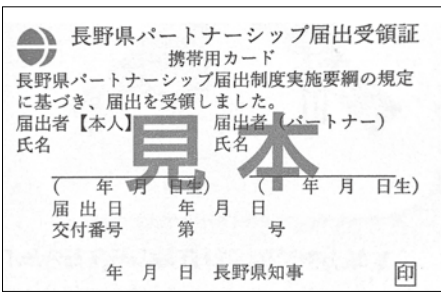


玉川 清史 議員

性的マイノリティの方々を対象とした「長野県パートナーシップ届出制度」が開始される。LGBTQなどへの偏見や差別をなくし人権を守る町のこれまでの活動は。また、この制度の概要及び県と連携した町の対応は。企画政策課長 町では、学校や企業でLGBTQを含め、広く人権という

テーマでの啓発や教育、研修に取り組んでおり、今後も継続的に理解の促進を図っていく。県パートナーシップ届出制度は、7月10日から届出を受け付け、8月1日から受領証交付、県と県内市町村共通のサービスを受けることができる。県のサービスは、県営住宅入居の申込み、県立病院等県立医療機関での面会や緊急治療の同意、県税に係る納税証明書の代理申請、犯罪被害者等の遺族見舞金の給付申請、自動車税の身体障がい者等に対する減免など

がある。県内市町村で受けられる共通のサービスは、市町村営住宅入居申込み、保育施設入所申込み、公立病院での対応、罹災証明・救急搬送証明等の代理申請、保育所・学童保育所への送迎、職員の福利厚生などである。町でも8月1日から共通サービスの提供を予定している。要望があった場合、法令等を確認する中で、メニューの拡充を検討していく。



受領証イメージ (県HPから)

## こども基本法

### 子どもの権利条例制定を

### 必要に応じて研究する



山城 峻一 議員

**問** 今年施行されたこども基本法第1条では児童の権利に関する条約について触れている。子ども

施策を進めるうえで、この条約についてしっかりと理解しておく必要がある。この条約に対する町の考えは。

**町長** この条約は、基本法の基本理念としても盛り込まれているとおり、子どもに関わる際の基礎となるものと認識している。今後もこの条約や基

本法における基本理念等を念頭に置く中で様々な施策に取り組みたい。

**問** 基本法には子どもの意見表明、また、意見反映に関する条文がある。今後、どのように子どもの意見を聴き、町施策に反映させていくのか。

**町長** 坂城中学校3年生が模擬議会で町に直接質問をしている。この他にも坂城町子ども・子育て支援事業計画策定にあたっては子育て中の保護者にニーズ調査を行った。今後は基本法を踏まえる中で子どもから意見を聴ける場を増やし、少しでも施策に反映できれ

**問** 子どもの権利をより一層、普及啓発していくために町独自の条例制定への考えは。

**町長** 国や県等の動向などを考慮しつつ必要に応じて研究していく。



## 生成AIの活用は

### 先進事例を注視し研究する

## デジタル化

**問** 生成AIに対する町の考えは。

**町長** 業務の効率化等において、非常に有用なデジタルツールと認識している。一方、公的な使用には、個人情報や機密情報などの管理の徹底や、誤った情報の見極めが大きな課題だ。

**問** 導入予定は。

**町長** 県内自治体の導入状況や先進事例の動向を注視し、研究していく。



柘津 明子 議員

**問** 導入により、教育現場の業務効率化につながるのか。

**教育長** 児童生徒の学習サポート、教職員の負担軽減の面から大きな効果が期待されている。

**問** 生徒への影響は。教育長 将来的には、先進的な事例を参考に、課

題解決に向けて、生成AIの活用を進めていければと考えている。しかし、生成AIの利用を通じ、個人情報の流出や著作権の侵害が行われることなどを懸念している。

児童生徒による生成AIの利用にあたっては、そのリスクを十分に理解させ、適切な利用について学習するとともに、利用方法に一定の制限を設けるなど、無秩序な利用が広まらないよう歯止めをかける必要があると考える。

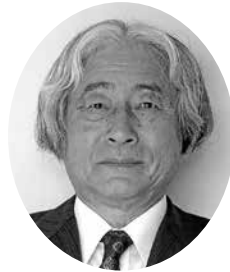


令和5年6月3日付 信濃毎日新聞より

高齢者支援

70才以上湯さん館無料に

慎重な判断が必要である



中嶋 登 議員

**問** 団塊の世代が高齢となってきた。後期高齢者の1人当たり年間医療費の推移は。  
**福祉健康課長** 年間医療費の金額と順位は、平成24年度は92万6千円で県内市町村の高い方から1位、26年度93万5千円で



1位、28年度89万2千円で5位、30年度88万7千円で11位、令和2年度は84万4千円で19位である。

**問** この10年の間に県内市町村の中でワースト1位になったときもある。コロナの影響からか、令和に入り順位が下がったが、直近の3年度は93万6千円で6位である。このことから、高齢者の健康を考え、70才以上の方のびんぐし湯さん館の入場料を無料にすべきと私は考えるが、町の考えは。  
**企画政策課長** 施設利用

における負担の公平性や経営面を考えると、慎重な判断が必要である。

五里ヶ峯トンネル横坑

**問** 町の宝である横坑の利用方法として、中沢町政の頃、私が「かいこ棚」のような物を作ってワインの貯蔵庫を提案した。改めて貯蔵庫の整備を提案するが、町の考えは。  
**町長** 横坑トンネルの活用が始まった頃に比べ、利用形態も変わってきており、引き続き検討する。



朝倉 国勝 議員

**問** 健康寿命が延び、人生100年といわれる時代が来ており、高齢者が暮らしやすいまちづくりを進めていくことが重要である。突然、移動手段が失われた時、高齢者の移動手段の確保は大変なことであり、公共交通の果

たす役割は重要である。町の公共交通のPRをどのように高齢者へ展開しているのか。  
 また、国のサポカー補助金が時限立法により2年間で終了した。高齢者の交通安全確保策として以前行っていた町独自の

デマンド交通

高齢者へのPRを  
引き続き周知に努めたい

自動車急発進防止装置取付費補助事業の再開についての考えは。

**町長** 町では公共交通として循環バスとデマンド交通乗合タクシーを運行している。デマンド交通は1カ月当たり200人を上回る利用があり認知されてきている。4月に全戸へチラシの配布を行ったが、今後も引き続き町広報やホームページを通じて周知に努めていきたい。

自動車急発進防止装置取付費補助事業については、令和元年10月から2年度末までの間、時限的に行ったが、高齢者の方に自動車の運転を安心して行っていただけという、65才以上を対象とする補助制度を設ける。

乗り合いタクシーをご利用ください。



松本 みゆき 議員

## イベントでにぎわいを

### 様々なイベントを開催する

#### 町の活性化

**問** 町民まつり坂城どんどんについて、企画に当たり考慮した点や、町のPRにもつながる広報活動をどのように行っているのか。

**商工農林課長** 近年、参加連が減少傾向になってきているため、町民の方が参

加しやすくなるよう、ひとつの連の基準人数を20人以上から10人以上に変更した。また、昨年度、鉄の展示館西側に整備した駐車場を活用するなど、坂城駅前中心市街地の活性化につなげていきたい。

広報活動は、防災行政無線、すぐメール、町ホームページ、ツイッターなどの情報発信と、新聞折込チラシを配布する。

また、町内各所にポスターを掲示し、坂城駅前には横幕看板を掲げ、お祭りの雰囲気醸成していく。坂城どんどんを通

じて世代を超えた方が集い、交流し、楽しめるお祭りになるように盛り上げていきたい。

**問** 坂城町を盛り上げるため、町のPRを行うべくいくことは重要である。

イベントの開催は坂城の魅力を多くの方に伝える絶好の機会となる。今後予定しているイベントはあるのか。

**町長** 9月には団地まつりやぶどう直売市。10月には町文化祭にあわせてふーど市や、町の特産品であるねずみ大根まつりを開催予定である。



## 給食無償化

### 無償化はいつから

4月に遡り実施する



水出 康成 議員

**問** 法令では給食費について保護者負担とあるが法への解釈は。

**町長** 学校給食費については、小中学生の健やかな成長支援と子育て家庭の負担軽減のため、給食材料費分を無償とする。自治体が適切に判断すべきとの首相の国会答弁もあり判断した。

**問** 給食無償化の財源は。

**町長** 一般財源と地方創生臨時交付金の一部を利用する。

**問** 無償化の期間は。

**町長** 今年4月に遡って実施し、終期は定めず継



学校給食

#### 公園管理

**問** 都市公園遊具の保守更新管理とびんぐしの里公園野外ステージ(以降

動的な注視する。

野外ステージ)の利用状況と利用推進は。建設課長 遊具の保守管理は長寿命化計画を踏まえ実施し、今後も安全で魅力的な遊具設置管理に努める。野外ステージの利用状況は、新設等数件のイベントが開催された。野外ステージは有料であるが、町内の保育所、幼稚園、小中学校、高校又は社会教育団体は減免でき。大勢の皆様を活用していただき、親しんでいたくよう、町ホームページ等を通じ、広く町内外に発信する。

# 労働環境

## 働きやすい就労環境を

### 実情に合った取組み推進



塚田 舞 議員

の両立の実現がますます重要となっていくが、町の企業の就労環境整備に對する現状と今後の取組みは。

**問** 誰もがいきいきと働ける環境は、社会全体の願いです。共働き家庭が増えるなか、家庭と仕事

町長 町では、国や県と連携し、町商工会や関係団体、町内企業が就労に関する活動を展開。講演会や研修、坂城経営



誰もが充実した働き方を実現できる環境を

フォーラムを通じて、ワーク・ライフ・バランスの重要性や労務管理の理解を深めている。特に、女性の就労支援や多様な雇用、就労環境整備に繋がるものであり、今後も企業や関係機関と連携し、ワーク・ライフ・バランスの実現や、性別や障がいの有無、国籍などに関わらず多様な労働者が安心して働ける環境づくりを進めていく。

### ICTによる町づくり

**問** ICTの取組みや活用の現状と将来的なサイバース展開は。

企画政策課長 行政情報の公開と利便性向上に注力し、電子申請システムを導入するなど効率化と計画性向上を図っている。今後、スマート農業ではロボット技術とICTの活用を継続し、農家の生産性向上と高収益化を図り、若手の就農や後継者支援にも取り組んでいく。

## 建設用地の取得状況は

約86%

### バイパス



宮入 健誠 議員

**問** 平成23年度の事業化から、12年が経過した。建設促進に向けての取組みは。

町長 町において関連事業を推進するとともに、国に対し、継続的に要望していききたい。また、昨年4月に国道18号バイパス

が、国の「重要物流道路の事業区間」に指定された。これにより、建設促進に向けた取組みが、より一層進むことを期待している。

**問** 建設用地取得の進捗状況は。

建設課長 令和4年度末現在の用地買収の進捗率は、坂城町区間全体の約86%と聞いている。

**問** 5年度の工事予定は。建設課長 網掛地区において、道路土工、カルバー

土工及び排水構造物工などの工事が行われる予定である。また、坂城町区間全体では、用地買収済みの土地の除草工、用地取得、物件移転等が完了した道路予定地の支障木の伐採・抜根・整地工事、木柵の設置工事などのほか、上五明地区の一部では、引き続き長野県埋蔵文化財センターによる発掘調査も行われる予定と聞いている。



18号バイパスと接続する県道坂城インター先線の地権者説明会

周知・情報提供は

町ホームページ等で周知



中村 忠靖 議員

**問** 過去に、町民から災害時における事前の相談・要望はあったか。

**町長** 各地区の公民館で、防災や避難行動について出前講座を開設しているが、参加された皆様と意見交換の中では、ペットの避難に関する相談・要望はこれまでどころ寄せられていない状況である。

**問** 千曲川豪雨災害時、坂城町ではペット同行避難があったか。あった場合、その時の対応は。

**町長** 当時、氾濫の危険性もあり「避難勧告」を

発令した。その際に、文化センターに2世帯が犬を連れ同行避難。ケージに入れての避難で、他の避難者と別の部屋で対応した。

**問** ペット同行避難の周知・情報提供は。

**住民環境課長** 町ホームページの「いざという時、災害からペットを守るために」という項目から、長野県動物愛護セン

ターのサイトの災害の備えに係る掲載ページをご覧いただけるようにするなど、周知を図っている。また、普段からペットケージに慣れさせることや、車中避難を想定し、広報さかきに掲載したこともある。

带状疱疹ワクチン

**問** 費用助成の考えは。

**保健センター所長** まだ期間が短く、現在もワクチンの有効性が審議されており、現段階では今後の国の動向を注視して対応する。



災害時はケージに入れて避難を！  
“出典”長野県動物愛護センター



大森 茂彦 議員

無償化の財源は

交付金と一般財源で

学校給食

**問** 学校給食費の無償化を4月にさかのぼって実施するが、その財源は何か。また、持続可能な制度となるのか。

**教育文化課長** 5年度の財源は、新型コロナウイルス地方創生臨時交付金と一般財源である。持続可能な制度にあたっては、財源の

確保は大変重要な課題である。当面、一般財源で実施し、今後は機会を捉えて国・県に要望していく。

**問** 国・県の補助制度がなくても、無償化を続けていくのか。

**教育文化課長** 現段階では、一般財源で実施していく。

**マイナンバーカードの返納は**

**問** 直近のマイナンバーカードの交付枚数と交付



坂城町食育・学校給食センター

率は。またカードの自主返納はできるのか。

**住民環境課長** 5月31日現在の交付枚数は、10304枚、交付率は71.52%。自主返納は可能である。

**問** 町ホームページには、申請の手続きを詳しく掲載しているが、自主返納の手続きについても掲載すべきと考えるが。

**住民環境課長** 広報担当課と相談するなかで検討していく。

# 保護者の負担額は

## 生徒1人当たり年間3千円



千曲坂城クラブ ロゴマーク



大日向 進也 議員

**問** 部活動の地域移行と千曲坂城クラブスタートの経緯は。

**町長** 少子化が進むなか、学校部活動を従前と同様の体制で運営することは難しくなり、教員が自らの専門性や意思に関わらず顧問を務める指導体制を継続することは困難な状況である。

こうした背景を踏まえ、令和2年9月、文部科学省より「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」が示された。

町としては、教員の負担軽減を図り、休日の部活動を地域活動へ移行するため、今年3月に千曲市と共同し、新たな地域活動の場となる「千曲坂城クラブ」を立ち上げ、4月より月1回の活動を開始した。

**問** 生徒と指導者の登録人数は。

**教育文化課長** 5月末現在、生徒は全体で875名、指導者は171名登録している。坂城中からは、137名の生徒が登録している。

**問** 運営費用及び保護者の負担額は。

**教育文化課長** 5年度の運営費用は、1797万円、そのうち町の負担額は306万7千円である。保護者負担額は、スポーツ保険を含め、生徒1人当たり年間3千円となる。

## 選挙

### 関心を高めるためには

### 啓発活動を行っていく



星 哲夫 議員

**問** 今回の町長・町議会における18・19歳の投票率と前回との比較は。

**総務課長** 今年4月23日に行われた町長・町議会議員選挙における18歳の投票率は30・37%。また、19歳の投票率が22・22%であった。平成31年に行われた選挙との投票率を比較した場合、18歳の投票率は前回の17・05%に対し、プラス13・32ポイント、19歳の投票率は20・49%に対し、プラス1・73ポイントとなり、両年齢とも前回を上回る投票率であった。

**問** 町における主権者教育の取組みは。

**総務課長** 平成28年度から、坂城中学校3年生が議場において、実際の町議会と同じ形式で模擬議会を開催し、地方議会と行政について学ぶ機会を

設けている。また、坂城高校の生徒に対しては、議会の仕組みや選挙の重要性などを学ぶ出前授業を行っている。

**問** 選挙への関心を高めるためには。

**総務課長** 町広報、ホームページ、防災行政無線のほか、選挙管理委員会とともに店舗の入口などで投票を促す声掛けをしている。今後も様々な機会を捉えるなかで、啓発活動を行っていく。



18歳の皆さんに配布したクリアファイル「投票に行こう！」